

中国の特徴

- 転職が多い (*job-hop*)
- ITの発達
- 情報保護の意識が低い



商業秘密
が危ない

事後対応の方法

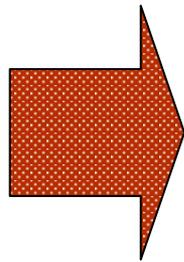
-刑事責任の追及

-行政責任の追及

-民事責任の追及

事後対応の難点

- ① 証拠収集の困難性
- ② 覆水盆に返らず



事前措置を講じることが
きわめて重要！

事前対応の方法

- 視点① 流出ルート
- 視点② 証拠の確保
- 法的手当と、実務的手当

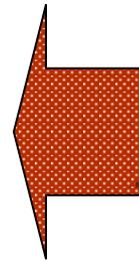
視点① 商業秘密の流出ルート

ルート

可能性

① 従業員

大



対策の重点！

② 取引先



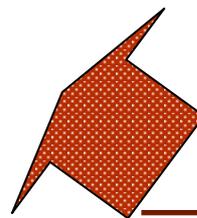
③ その他

小

視点② 証拠の確保

- 刑事、行政、民事責任の追求

- 社内処分の実施



証拠が必要！

法的手当と、実務的手当

▶ 在職中の従業員

- 秘密保持義務契約
- 秘密管理体制の構築
- 就業規則

▶ 退職後の元従業員

- 競業避止義務契約



注: 地方性法規
の確認等が必要